明治四十三年三月十五日發行
每月一回十五日發行
明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

第百五十三號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十三號

目次

○社告二件

○社說

噫不良少年

○禁煙實驗談(一節)　醫學博士　北里柴三郎君

○鶯の音

賞盃につきて

和歌て良人並に其友の飲酒を戒しむ

○家庭の勢力　江原　素六翁

○家庭欄

破損した人形の處置　久留島武夫君

乳の話　此花看護婦會長　鳥山辰子

○青年部欄

偉人の面影　三谷民子

○內外通信

本部、芝、佐賀、前橋、福岡若松、長府、堺、大阪

社告、廣告

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一　部(前金)	金六錢
六　部(前金)	金三十五錢
十二部(前金)	金七十錢

(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字)	金十錢

明治四十三年三月十四日印刷
明治四十三年三月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　婦人新報社
東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地

編輯及事務所　本郷駒込蓬萊町六番地

No. 153. MARCH 1910.

WOMAN'S HERALD

CONTENTS

How shall we make the character of the children?

Beware of Tobacco...Dr. Kitazato.

Pleasant news for the Temperance.

Great influence of "Home"!...........................Mr. Ebara.

Home Dept.

Y. Branch.

W. C. T. U. News.

Headquarters, Shiba, Saga, Chōfu, Wakamatsu, Osaka, Sakai.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十三號

（明治四十三年三月十五日發行）
（明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可）

○社告

四十一二兩年度の婦人新報代未納の御方は至急御拂ひ被下度希望し奉り候也

婦人新報事務所
東京市本郷區蓬萊町六番地

○社告

前號に御願ひ申しました通り、來る九月より上州前橋に開催せらるゝ大共進會を期として、兩毛ことに前橋支部にては大々的の活動をなして、矯風事業の面目を施さんとの、計畫でありますから、各支部の諸君方には御同情被下まして、同支部をお助け被下ますならば、獨り前橋支部の幸福ばかりでなく、之によつて各支部が益々一致聯絡して、社會の改善に貢獻する事が出來ることゝ信じます寄附金は左に御送附被下

上州前橋市横川町
松宮信子

社説

○噫不良少年

△家庭の花

幼兒等をつれ來れ、天國にあるものは斯の如きものなりとは、主エスキリストの御言葉でありますが、實に子供ほど正直で、無邪氣で、汚れにそまぬものはありません、此の花があればこそ、一日の奮闘に力のなえた父も、心づかひに疲れはてた母も、再び力を得て、和氣滿ち〴〵た生涯を送る事が出來るのであります、嚴

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かなる父の愛の光と、情しき母の慈悲の露とに由つて、日益しに生ひ立つて行く此の馨ばしい花が、家庭の飾となつて、賑はして行く之れ程の幸福は、何ものをもても買ふ事が出來ないと思ひます、心して培ひ養はねば、美はしい花も見る事が出來ず、却て雜草の爲めに、枯れはてゝ終ふ事を思ひまするならば、また此花の育て方の六ケ敷い事も偲ばれます、此愛らしい淸らかな花は、いつ迄家庭を喜ばす事てありませう、いつ迄幸福の泉となつて居るのてありませう

△母之悲嘆

成長して美はしい蕾を持つて、やがては奇麗な花が咲て庭の賑いとなるだらうと樂しんで居る間もない、家庭の事情や社會の空氣や、父母の不注意やらにて、切角の花も散々に蹈み躙られてしまい、母の胸にはいつも悲嘆が去る事なく、父の頭は失望と憤怒とてかき亂されると云ふ、實に悲しい運命が、春と喜んで居る中に、這入り込んで參ります

此の家庭の嘆のとがは、決して小兒ばかりにはあるのてはありません、何ぞ知らん其大部分は、身から出た錆てあります、父が不身持の血が其小兒の中に傳へられたのてあります、母が不謹愼な行爲が眞に小兒の手本となつたのてあります、近頃不良少年が諸所に巣くふて、善良な少年を害して居る事てあります、未だ何にも知らないと思ふて、油斷をして居た十二三歲の小兒が、實に恐ろしい罪惡を行つて居るのてあります、友人の惡感化によつて、墮落するものも多くありますが、其小兒等の家庭を研究して見ますと、必ず一定の根因が家庭の中にあると云ふ事てあります、殊に相應の家庭が此の不良少年を生み出す事に至つては、どうして何とか原因がなければなりますまい、此一定の根因とは、家庭の廢頽紊亂てあります、父たる人若しくは母たるものが、自分の慾望にかられて、子女の敎養に怠るからてありませう、人生れながらに罪に汚れて居りますとは云へ、既に胎内にある時から充分の注意を以て、其子供の成長を望んだならば決して、親のなげきとなるやうな人にはなりますまい、不良の少年は決

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して惡むべきてはありません、寧ろ憫むべきものてあります、此のあはれむべき少年の犯罪が都會の少青年の氣風を、腐敗させて行くと云ふ今日の有樣を、如何して、救濟するでせうか、第二の國家の柱石であるものが、虫食ひ質の脆いやうては實に悲しい事てあります、

△少年の惡風を如何に匡正すべき

不良になつた源は、かなく\に遠い處にあると思ひます、禍のなるの日はなるの日になるに非ずとか申しますから、匡正するのも只表面的な矯正ては到底救ふ事は出來ますまい、醫者が藥を投ずるやうに、充分に其病根を研究し、經過を考へてせねばならぬと思ひます、不良の子を出した一つの家庭ばかりが其病根てはないのてあります、社會が小兒を輕視して居る事も其因てありませう、家庭が之を重んじない事も其因をなして居る事てありませう、遺傳の血が其根てある事もありませう、要は淸潔なる家庭を造らんが爲めに、各々が慾望をすてゝ、眞面目な人となつて、其子女を敎養する事てあらうと思ひます、父なる人はモット家庭に重きを置いて、恣な事をやめて愛ある嚴正なる人になる事が必要てありませう、また母なる人は健固な覺悟と偏らない情愛とを持ち、眞面目な智識を養ふ事が急務てありませう、而して社會も小兒には充分に同情と敬意とを拂つて、凡ての階級の小兒等に滿足と、平和を與へるやうな處置を取る事が大切てありませう、自らの子供等を不良少年から避けさすと共に、同情を以て其不良の少年の匡正に務むる事はお互の務てありませう、噫平和の天使家庭の花、聖人の友、キリストの尤も慈しまれたる此子供の正道を蹈みはづした罪は、抑も誰れにありませうか、其子の一人だも躓かせたものは天國に入る能はず、矯風會の團體また此の大問題の爲めに充分に力を盡す處てあらうと信じます

○禁煙實驗談（一節）

醫學博士　北里柴三郎君

飲酒の有害なる事は、世間の人も多く認めて參りますが、喫煙の如何に人身に害をなすかに付きては余り深

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く考いない、寧ろ念頭にかけないやうである、私は近頃全く禁煙したが、何故かと云ふと、煙草のうちのニコチンなる者が、非常な害毒を與へる、時々原因の知れぬ頭痛眩暈がする、而して少し身躰に異状でもあると、早速心臓の機能に故障が起る、と云ふ有樣で實に危險なものであるアルコールに劣らぬ、有害物である、此の如き有害物を禁じて、其爲めに憂鬱病などに罹るなどゝは　實に驚くべき意志の薄弱なるものである、コッホ博士もニコチンの有害なるを主張されて、自身も禁煙せられた位である、

○篤の音

△賞盃につきて

○獨逸帝と乾盃式　博士は話頭を轉じて賞盃廢止請願の件に及び、此の一事も貴族院では不敬の行爲とて請願却下に及んだ事を覺えて居るが、此等も何れ時機の到達する場合に於ては、格別の面倒もなく實行せらるゝであらう、夫れに付き思ひ出さるゝは、數ケ年前獨逸に於て皇帝の萬歳を祝する節、陛下の御前に於て三鞭酒を酌んで乾盃式を行ふが常例である處、バハリヤ國の軍隊の將校にして禁酒團に屬して居る者があつて、皇帝陛下に對して水を以て乾盃式を行ふて然る可きやと伺ひたる處、無論水にて苦しからずとて、寧ろ其擧を稱美せられたる御沙汰が下りし事があつた吾邦にても早晩右と同樣の時節到來すべし云々、余は因て博士に向ひ、去歳「國の光」第百八十八號に掲載ありし我が宮中に於て、天盃下賜の節宮內官吏が酒を斟ぐ前に、「御禁酒ならば召上らずとも宜しい、」と一々懇ろに注意を加へたる會員の事實談を物語りて、此の一事の如きは獨廷の乾盃式の美談と相伯仲するに足る可き者であらうと述べしに、大澤博士は殊の外滿足せられた

（國の光より轉載）

△和歌で夫并に其友の飲酒を戒む

滿洲遼陽なる正金銀行支店の三宅氏夫人仲子が和歌を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

詠じて夫及び其友に飲酒を戒めたること此頃新聞紙上に掲げられしに芝罘在留民團舍内に住む林田鶴子といへる人あり三宅夫人と共に金澤の高等女學校にあり不圖其記事を見て始めて同窓の稻坂氏が三宅氏に嫁して同じ清國に在るを知り水莖の跡麗はしく

うれしさを何にたとへん我窓の光輝く君が譽れは
千代八千代清く流れし石川の譽れは世々に汲まれけるかな

と二首の和歌を添え夫人に贈りければ夫人は同窓簿を繰り返して第七回卒業生なる田鶴子の名を打眺め痛くも喜び居れりとか共に異鄕の地に在りて和歌により舊友を知れるは床しくも優しき話ならずや

○家庭の勢力（母親と子供の關係につき）（第一）

江原素六君

家庭訓育の貴重なることは、日本支那に於ては、古しへより是を論じたのであります、支那に於ては漢の劉向といふ人が列女傳といふ書を著はしました其書には未だ子の生れざる時、即ち胎教とて、既に懷妊するや、直ちに教育に精神を注ぐので有ます、其一例を陳べますれば、古しへは、婦人子を妊めば、寢ぬるに側せず、坐するに邊せず、立つに蹕せず、邪味を食はず、割正しからざれば食はず、席正しからざれば坐せず、目に邪色を見ず、耳に淫聲を聞かず、夜は則ち瞽に詩を誦して、正事を曰はしむ、此の如くなれば、生るる子は、形容端正にして、才人に過ぐと記して有ます、

これを、今少しくやさしく申しますれば、婦人が懷妊いたしましたならば寢るには、片寢をなさず、坐するには、横坐りをせずして胎兒の安全を保護し、且つ立つに片足立をせぬと、即ち跟け轉げる等、萬一の危險を避くる樣に注意をいたし、又其食物の如きも、邪味を食はずとて、平生食馴れぬものは容易く食はぬ樣にするのみならず、割目正しからずと申て、異樣の調理法のものは食はずとて、大に衛生に心を用ひ、席正しか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らざれば坐せずとて、坐蒲團等に坐するにも、曲りたる上に坐らず、目には異樣のもの、又は殺伐的のもの、奇異なる者陋劣なる書籍は之を見ぬ樣にして、尚ほ耳には淫聲を聽かず、即ち不眞面なる談話、猥褻なる音曲などを聞くことなく、反つて高尚優美なる音樂、若くは講談等を聽く樣にするといふので有ます、此の如き心掛けの婦人によりて、生れたる子は、必らず形容端正にして、才智衆人に過ぐるといふので有ます、

日本普通の社會にも、曾て種々なる方便によりて、胎敎的風習が有ました、たとへば、片足立すると跛の子が生れる、火事を見ると、痣のある子が生れるとて、即ち火事と聞ては輕燥の擧動を戒め、殊に禽獸を屠るを見、又は不具者の見世物等を見ることは之を忌ましめ、塗物の上に熱き鐵瓶又は藥罐等を載すれば、兀頭の子を生む、葱辣韮等を食すれば、腋臭の子を生むとて、或は情緒に、或は感情に銘せしめて、進退動作飮食に注意せしめたものであります、

然るに維新以來、從來の風習は玉石ともに、之を棄つるの勢となりまして、夫れが爲め時として、不慮の禍を招きしことすら一二にして止まらないので有ます、日外の新聞に有ましたことゝて、皆さんも御承知で有ませうが、或る學士が、妻君を迎へて、夫婦禮讓甚だ麗はしくして、實に理想的一對の若夫婦で有ました、或る時、其新婦人が、戯れに庭前のブランコへ乘られました、其夫も亦頗る興味を感じつゝ、頻りに其ブランコを動かして、婦人のいやがるに興して、益々戯ること、恰かもイザクが其妻リベカと嬉戯ることを、ペリシテ王、アヒメレクの羨み見たる有樣に似ておりました、然るに、いかなるはづみか、婦人は手を外して、前へ落るや、懷妊の子は流産となりて、切角の初子は、死なれました、故に君子は、危きには近かよらぬのみでなく、妊婦も亦危きに近よらぬことが大切で有ります、

子供は四五歳までは、大切なる敎育時期だといふことにつき、金森夫人の實驗談は、大に興味あることで有

ます、即ち夫人の實驗によれば、子供は言葉を以て敎へることは、實行はせぬが、行つて見せることは、何てもやると曰はれたことであります、私の近所に、或る家の若き婦人が、毎朝甲斐〴〵しく、入口の前の掃除をいたされますが、其家の三歳位の子供が、塵取りへ、塵を箒き込み、箒で押へつゝ、塵箱へ入るゝ眞似をして遊んでおります、若し彼樣の小供に、左の手に塵取を持ち、右の手で塵を箒き入れ、其塵の風に飛ばされぬ樣に、箒で押へて、塵溜へ捨ろといつても、なか〳〵分るものでは有ますまゐ、

フレーベルの人の敎といふ書に、日傭取の子で、二歳になるか、ならぬ者が、父の馬を牽いて居る、子供は落付き拂つて、靜かに馬の前へ歩むで參ります、折々振り返りて、馬を見る有樣、現然たる馬士で有ります即ち子供は、自分が轡を持つてゆけば、馬は後から隨いて來る筈だと思つております、父が途中で、人に逢ふて、立ち話をすると、馬も同じく止りました、子供は、馬が歩行かなくなつたと、思ふて一生懸命に轡を引張ります、即ち生れてより、家庭に於て、父の馬を扱ふのを見ておるからで有ます、私が常にいふので有ますが、家庭と學校の連絡といふことは、大切では有ますが、しかし今日の所謂連絡といふことでは、未だ充分ではありませぬ、家庭は實行を訓育する所學校は知らせる所であります、この知らせることと、實行することと、調和聯絡することを要するので有ます、

近頃動物愛護會といふ會が有まして、凡ての動物を虐待することを防ぐ會で有ますが、就中牛馬に過重の荷を負はせて、坂路などで、鞭ち罵る如き、殘酷の行爲を防止せむとする會で有まして、私も其會員の一人で有ます、しかしながら、牛馬を飼養する家族の風が改まりませぬなら、二三歳から虐待を目撃して居りますから、虐待が正義である、當然である如くなつております、故に愛護會の目的を達することは、馬を養ふ家庭と相俟つに非ざれば容易に其目的を達することは出來ますまいと存じます、然らば子供はいつ頃より家庭の感化を受け初むるかといふことはたしかに分ります

まいが、先づ子供の五感の發達の順序を考へて見ますれば、ダーピン及其他の學者の說によりますと、小兒が生れて、九日目には、蠟燭の火をぢつと見詰め、四十九日目に、うつくしき絲の房を見せしときは、手足の運動を全く中止して、熱心に見たと申して有ます、即ち小兒は、第一に視力が發達しつつ、乃ち四十九日目にはうつくしき房絲を手足の運動まで止めて之を見詰めたる如く、子供の目には、母親の大小各種の行動は、蠟燭の火よりも、五色の絲よりも、眞に珍らしくして、更に熱心に見詰るので有ますれば、母親の性質の良否が、其子の運命に關することは、明かなことで有ます、

既に一年を越しますと、愈視覺は發達いたしまして、たゞに見るばかりでなく、聯想的智能、及び實行的慾望の開發する時て有ます、私が今より二十九年程以前に、激烈なる肺焮衝を患ひまして、醫者が來まして、胸や其他の所を敲きては、聽診を當てて、心臟肺臟の音を聽きます、其頃の聽診器は、今日の樣にゴムの紐をつけて、其先を兩方の耳に插むのては有ませぬ、小さき喇叭形の機械の、一方をば病人の心臟肺臟等へ當てて、他の一方に、耳をつけて、其音を聽くのでした、其頃私の次男が、一年と四ヶ月で有ましたが、母の膝に在つて、醫者のすることを、ぢつと見つめておりました、兩三日の後ち、偶四五人の見舞客が枕許に集りました、次男は臺所より、ヨチ／＼しながら火吹竹を持來りて、やがて私の夜具をまくれといふ風でした卽ち其吹竹を私の胸へあてて、胸の音を聽かんといたして、一同を非常に笑はせました、卽ち見たことは必らず行ふので有ます、其最も多く見られるのは、母親であります、而して聽覺の方はいつ頃より發達するかといふと、ダーピンの研究では、生れて、六十日目に父の嚔に愕き泣きしことがあつたが、其れは音響の反動運動といふもので、眞の聽覺ではありませぬ、大抵の子供は、生れて七十五日目位から聽覺が生ずる者だと申して有ます、テーンといふ學者の實驗も、同じく其子が生れて、二ヶ月半の時、其祖母が名を呼びし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とき、始めて祖母の方へ面を向けたと申ます、始は見るばかり、後ちには聽くと見ると調和して、見しことは必らず行はんといたし、聽いたことは必らず曰はんとするので有まして、愈々智識の開發が、盛んになるので有ます、而して其言行の一大模範も智識の開發も、悉く母親の智德が大關係するので有ます、故に眞正に其子の幸福を願ふならば母親たる者は、大に言行を愼しみ、自己の智德を練磨せねばなりませぬ、此の如く目と耳の發達はいよ〳〵兒童智識の開發時期で有ます此際母親たる者は、其開發を促がすことと、開發を害せざることに注意して、强て助長することは避けねばなりませぬ、促すとは始めて齒の生ぜむとする時、生齒熱が强きときは、其齒の生せんとずる齦の皮を少し破つてやるごとくすることにて程よく迎へて智識の開發を促がすことは大切で有ます、卽ち無理に智識を開發せぬ樣に注意することで有ます、

私の宅に、三歲になる孫が有ますが、或る時、小さな兎を貰ひました、勿論死んでおるので有ます、下女が戲れに、其孫にぼつちやん、これは何んで有ますかと問ひました、容易に答へませぬ、深く〳〵考へましたのち、區役所へ持つてゆくのだと答へました、これは私の隣りに區役所がありまして、乳母に負はれて區役所の門前に遊ぶとき、屢々區役所へ鼠を持來るのを見ておりまして、遂に死したる小さき動物の記憶を聯想して答へたので有ます、其後また、私の恩人の家で、初孫が生れました、私は頗る憤發して、大きな鰹節の折を買つて參りました、この時にも下女は、又ぼつちやんこれは何んですと聞きました、今度は容易く答へました、則ち赤さんをいれる箱だと、まことにいんぎの惡ひことを申しました、卽ち乳母が輿やの見世先へ立ちて、たま〳〵赤兒の棺の出來上りたるものを見せて、ぼつちやん、これは赤さんの死んだのをいれるのであるなどと無意味にはなしたることをよく記憶しておつたので有ます、卽ち見聞に觸れしむるものによつて、大に開發の利害に關するので有ます、其故に禮記內則篇にも、凡そ子を生むや、諸母と可者との內、必

らず其性質の寛裕、慈愛恭儉にして、言葉寡き者を擇んで子の傅とすべしとて、僕婢のことまで注意してあります、然るに近頃流行る活動寫眞の中には、時として、殘酷殺伐猥褻のものも有ます、然るに若き夫婦が、子守に子を負はせて、之を見物するごときは、子供の爲に利益とは思へませぬ、先頃も有名なる學者の奥方が、子供をつれて、劇場を見ましたが、其子供が、咽を突きて自害する眞似をせむとて、物さしを口中にさし入れますや、其脇に在つた、子供が無意味に、その物指の先を強く打ちました爲に、其子は遂に死なれました、即ち目撃によりて得る力、即模範は實行上の教訓にして、到底口舌にて教ゆる能はざることを教ゆるので有ます、故に惡しき摸範の前には、いかに立派なる教訓も其效力を失ふに至るので有ます、故に苟も自己の行爲が其口ていふ所の教訓と、相異つてをりますならば、其教訓がただに無效なるのみならず、却て子供は反感を起すもので有ます、即ち父母若し口にいふ所と、身に行ふ所と相反する時は、小兒は直ちに其父母の言行反對を看取するので有ます、盜める慾を袖にして、信實德行の事を說教するも、其教師は一錢の價値を有せずと、品行論に在る如く、口舌のみの教訓は、殆んど其效果を奏することは、不可能て有ます、

此の如く、子供訓育の責任を、母親に求むるものは、蓋し大なる理由が有からで有ます、即ち母の慈愛は、天理人情の必然なるものにして、最とも見はられて見易きものであり、母の慈愛の其子に沾ひ感ずるもの、時として然らざるはなく、人の始めて、此世に出る首途に逢ふものは、母の慈愛て有まして、母の教訓が之に伴なふので有ます、而して善き母の德善の感化は、其勢の大いなること、小兒一生の末途にまで達し、久しうして已ざるもので有まして、人生の海に始めて舟を浮べ、岸を離るるや、多少の苦勞、多少の憂愁、多少の誘惑に遇ふことは、人々の必らず免かれざるもので有ます、此時にあたり、其母既に死し、其骨已に朽と雖ども其母を追憶し、自ら慰藉するので有ます、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

凡そ人小兒の時、其母より種を受け、根を生じたる、純精善良なる意思想念は、次第に生長し、發現して、善行となりて、一生已むことなく、其母沒後に及ぶまで、永續するので有ます、蓋し其母已に世を畢て、後一物も斯世に遺すものなしといへども、その慈愛、其敎訓は、其子の紀念に存するもので有ます、エメルソン曰く、國の開明は、善き婦人の感化なり、故に婦德の長短を觀て　邦國開明の度を知るに足れりといふことが品行論に記して有ます、即ち善良なる母親たらむとするには、朝夕日々の行狀に大に注意せねばなりませぬ、

私が或る時有名なる畫工に蟹を畫きたる油繪を貰ひました、私は其上へ粗末なる歌の樣なものを書て、ある女學生に贈つたことが有ます、即ち其歌の樣なものとは、(親蟹の其身は横に這ひながら子らにはつげぬすぐにあゆめ)といふ句で有ました、これは獨逸のザルッマンといふ、大敎育家が、蟹の横這ひといふ著書につきて、故大村仁太郎氏の著はされたる書に、親蟹が二三の子蟹に向ひ、訓誡して汝等は是より決して横に步むではならぬ、必らず正しく眞直にあゆむべしと、然れども親蟹にして依然として横はひするならば、子々孫々連綿として横這いするのであります、即ち女學生が學校に於て、育兒法、又は家政學を學びましても、到底口先の指圖や、敎訓にて、子供の敎育は出來るものでは有ませぬ、即ち實行が大切であります、

世間稍もすれば、歐米は物質的にして、就中北米合衆國の如きは、拜金宗の最とも甚しきものなりと、申す人が有ますが、これは、全く皮想の觀察で有りましてかの駸々たる進步發達の基礎は、全く家庭訓育にあるので有ます、例へば、北米合衆國に於て、多數の僕婢を使ふ有數の資產家でも、其子女を幼稚園に送るに、往きか返りか、必らず母親自から之をなして、往返とも下女にまかせることは殆んどないと申します、而して家庭の良否は職として、婦人の智德に基くので有ります、

終りに臨んで一言いたし度ことは、小兒の觀ること聽

くこと、言ふことが、發達する時に際して、數多注意すべきことのうち、先づ二つのことを申し陳べますれば、第一父親母親とも凡て言語を愼しみ且つ正確の言語を使ふ樣にすることで有ます、小兒は正確に言ひたくも、舌が轉らぬので有ます、然るに兩親が、小兒の眞似をして、舌たらず、片言をいふことは、小兒の爲には、不深切で有ます、目今高等女學校の教師でも、日常の對話を、正確になし得る者は極めて少く有ます、しかし小兒に言語を教ふるつもりでなく、ただ自分が正確の言語を使ふ樣にすることで有ます、

第二敬虔の模範を示すことで有ます、小兒は父母兄弟姉妹朋友と交る間に、自己の自己以外の凡ての者と、一致結合せしむる、原動力たる、共通の感情を有し、即ち人に個々孤立の如くなれども、感情は決して孤立のものでなく、共通一致の神性あることを微かに感ずるもので有ます、即ち宗教心とも申すので有ませう、此時に當り樂しき時にも、苦しき時にも寂しき時、怖ろしき時にも、信賴するに足るものあることを、行爲を以て子供に示すことで有ます、例へば子供を寢かさんとするとき、小說を讀みつゝ小兒に乳を吸はする母親も有ます、敬虔なる母親は、靜かに神佛を仰いで、只管其子の保護と、幸福を祈るので有ます、かかる母親は其子供が眼を覺まし、樂しそうに笑つておる、小兒を抱き上げながらも、さも嬉しそうに、惠み深き神佛が、小兒に安息を與へ、力を與へ給ふことを感謝するので有ます、此の如き敬虔深き母親の感化は、小兒生涯の幸福の源となり、老年に及ぶまで、母子の愛情は、益々濃かになるので有ます、小兒の時に、敬虔の心を與へざるものは、小兒の手より、大なる寶を奪ふより殘酷だと申すことが有ます。

家庭欄

○破損した人形の處置

久留島武夫君

兒童教育に一身を捧げられて居らるゝ青山原宿なる久

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

留島先生をお訪ねいたしたのは、二月の長閑なる日であつた、山手固有の道すがら、いづこともなく梅の香の、ほんのりと袖をかすめるなど實に床しい思ひをした、極く靜かなお宅を音れると直ぐ、嬉しく感じたのは、一人の若者が得意げに、煙草を吹かして居る傍に、同じ若者がニコチンの中毒に、苦るしき頭をかゝへて、なやましげに椅子にもたれて居る額面が、玄關の左手の壁にかゝつて居つた事であつた、應接間に通されて、親切な先生に初めて對面いたしたが、同じ主義を持ち給ふとの紹介者の言に、既知の方の如く思はれて取あへず、先生が近頃の研究の人形の事につきこゝに一つの問題に限つて、御高説を承つた、

近頃人形につきて少々研究し初めましたが、先づ最初に

1 人形につき記臆に殘りし事
2 人形に命名せし事ありや否
3 人形に心の有無を考へしや
4 破損した人形の處置は如何

人形を兄弟の如く思ふ
感覺あるものゝ如く思ふ
同情をよせしものに如何にして結末をつけしか
慾望よりか或は他に思ふ所ありてか云々

まあ斯樣に質問を、各地の學校に送つて其回答を依賴いたしましたが五十六名ばかりの回答を得ました、そのうち第四問の回答につきて、一寸表のやうなものを造りました

1 忘れるともなく忘れたり	(四名)
2 その儘にて保存しあり	(五名)
3 已むなく打ち捨てたり	(七名)
4 妹にゆずれり	(二名)
5 人に送れり	(一名)
6 川に流せり	(二名)
7 修繕したり	(三名)
8 埋葬せり	(四名)
9 未詳	(廿八名)

第七の修繕せりと云ふ中には、母親が手傳て破損した

所を直してやつたと書いてあつたのもありました、また、第八のには、母と一緒に埋葬したとか、人形を葬つてお線香をあげたなど〻も記してありました、これによつて考へて見ますに第一より第三迄の人々は、實に人形に對しては、些の同情もなかつたので、然し第六は時々迷信の爲めに、水に流すやうな事もあれば、定めがたいが兎も角も、第七第八の人々は、實に執着心の強い事を表はして居ります、今第七第八の子供等の心理を解剖して見ますと、

修繕せしは
いつ迄も遊び相手として、やさしき心を一きは深く、足らざる處は補ひ、惡しきは去りて、なほ變らず慈をかくるとの慈愛心なり

埋葬せしに
至つては如何までも我心に、我が妹とも弟とも、思ふて、生ける如く心をよせしもの丶、死したるなりとて埋めたる、やさしともやさしき心根なり

極く些細の事のやうに思はれますが、實は子供の心理狀態には大なる事柄であります、子供の心の樣が僅か人形の處置によつてさへ、よく分るのであります、またそれによりて優しい心は益々開發せられるのでありますから、母親たるものは人形を與ふるにも、其品質を撰び、また保存や破損等にも氣をつけてやらねばなりません、御承知の通り西洋の人形は瀬戸燒てありますから、破損する事は容易でなく、從つて子供たちが、宛然人間の如く、着物などの洗濯をしたり湯浴をさせたりいたしますが、日本には瀬戸燒は唯だ京都の清水で製造するばかりなどて、日本の人形は實に保存し惡いのであります、其他命名につきましても、子供はそれ〴〵考へてつけるもので、階級によつて種々異ります、兎も角も破損したる人形の處置につきましては、母親たる人も情しき心の發展を計る一つとして、傍らから注意してやらねばならないと思ひます、

（文責記者に有り）

（くさ〴〵の物語に長き時のおさまだけなしたがとりまとめて申さむもかたければこれて筆を擱したいと思ふ）文責記者にあり

○乳の話

此花看護婦會長　鳥山辰子

産婦の食物について

産婦の爲に只々消化のよい食物(粥梅干味噌汁)などをのみ與へ居る故自然乳の出が不足する胃腸を害し發熱するような食物は不可なれども産婦は消化機の病人ではなく單に全身の疲勞につれて消化の働も緩漫になつてゐるに過ぎない故初生兒の爲め胃腸に堪え得る限りは滋養物も充分いたゞく事

運動と食物に注意すること

平生食しなれた食物を成るべく規則正しく多量に食するがよい消化よき物をゑらぶは勿論なれども滋養物を第一とす刺戟性の物はさけなければならぬ、適宜の運動が肝要である

授乳の方法

古くたまつていた乳はよろしくないから先づ一方の乳房が空虚になるまですはせて後他方のをすはせ一時に充分與へてちび／＼與へぬ事授乳の時間は二ケ月位迄は二時間毎に其の後は、二時間半位に與へる時間を正しくせざるときは、新古兩性混淆する爲胃中に於て腐敗する事あり其の爲め消化力が鈍くなり病をひきおこすなり

乳首は硼酸水又は湯にて浸し清潔なるガーゼ脱脂綿にてふき與ふべき事

夜中の授乳　夜中には四時間でも五時間でも授乳せぬがよい添寢はかたく禁ずべき事である、鼻口を壓し窒息死に至らしむる事あり躰温の放散烈しき爲め温を母躰に奪はるゝ事あり炭酸瓦斯を吸入する憂あり

月經時の授乳

下痢不穩の狀態なき限りは授乳せしむるも差支なし

授乳時服藥の注意

凡て藥は醫師に問ひて用ゆべき事

乳母の病氣のとき

急性病、感冒、急性腸加答兒等は哺乳せしむるも差支なし初生兒は少しは發熱する事あれども害になら

ざる限りはよろし（慢性の結核梅毒瘰癧脚氣 癩病等は禁ず可きこと）

牛乳をならはせおく事

生後六週間位になつたならば護謨の乳嘴を以て牛乳を飲しむこは乳嘴を忘れぬ爲故忘れぬとゆふ事が知れたなれば母乳を與ふるがよいしかし母乳があるのに一日二三回も牛乳を與ふる必要はなし

母乳と牛乳の混用

母乳が不充分なる爲め其の張るを待ちて與ふるよりは其の不足を牛乳にて補ふ事

驢馬の乳は人乳に近きことを以て牛乳に勝れりとすれども種屬少き爲め不充分なり山羊の乳は結核菌少き爲め稱せらる

牛乳にて育つる事は不自然なり

人乳と牛乳の成分の比較

	人乳	牛乳
蛋白質	一、〇	三、〇
脂肪質	四、〇乃至五、〇	三〇乃至四、〇
糖分（乳糖）	七、〇	四、〇
鹽分	〇、二	〇、七
水分		

牛乳が人乳より消化のわるいとゆふ事は蛋白質がおほいからである牛乳を人乳に近づけるには牛乳へ三倍位水をさして稀薄にする蛋白質はこれてよいが糖分がうすくなるゆゑ之を補ふには少量の砂糖をいれるがよい脂肪質もうすくなるが分析の方法不完全なる爲め全を得ず故に通常はこれにてよし

黴菌の媒介者は搾取する人、器物、運搬する道等なり

消化狀態を異にする

乳汁は胃中に入るや直に凝固するものなり

人乳はこまかに牛乳は大きくあらく凝固するものなり

混合物除去の方法は第一に殺菌なり

鍋にて煮るは不可なり蛋白凝固して不消化となる

リキスレット氏の殺菌器にて百度以下（七八十度）の強溫にて沸騰後十分間消毒すること

牛乳の長きごむのくだは掃除に不完全なる爲め短きも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のを用ゆべき事、用後は曹達水に浸して洗ふべき事

生後四時間後に空腹を覺ゆるときは一二度は砂糖水をのませること其の後は牛乳一、水四、少量の砂糖を混合し三十ぐらむ程なるべく遠ぬいて與ふべき事

生後四五日間は朝より夜の時間は二時間毎に與へ夜半は與へざること

飲みつくしてなほほしがるときは四十乃至五十瓦を與へ五六日の後に不足を訴ふるときは七十瓦位を與へ二ケ月後には百五十瓦位にすべし八九ケ月頃には二百瓦となし其上は不可なり

五日より二週間後は

牛乳	一		水	三
三週間	一			二、五
六週間	一			二、
二ケ月	一			一、五
四ケ月	二			一、
六ケ月	純乳			

糖粉は百分中四瓦とす

滋養糖は葡萄糖諸糖をも含有す脂肪蛋白質は含有せず消化よく躰量を増加せしむ病氣のときのみに限らず平生用ゆるもよし百に對する六とゆふ比なり

便通かたきときはリービヒを混用するも可なり

恐るべき哺乳兒脚氣

徵候　元氣失せ無欲性狀態となる（ぼんやりして元氣なく眼もどんよりして顏色もわるくなり泣聲も凋れてヒー〳〵泣き乳汁をはき大便は綠色となり小便の通利わるくなる、まぶたは半ばはれ半開にしてなにをのませても充分飮み得ざるなり

青年部欄

○偉人の面影　三谷民子

△ヘンレーバンダイク氏

旅行の樂しみは誰れも味はつて居るのですが、古い歷史の跡を弔つたり、山水の美を賞嘆したり故人の墳墓

に其昔を偲んだりするほど旅行に興味を與へるものはないと思ひます、ことに日頃其人の性格を聞いたり其人の著書などを讀んだりして色々心に其人の樣などを畫いて居る詩人や偉人などに計らずも邂逅するやうな事があつたら、それ程滿足に愉快を覺える事はありますまい、私は先年英佛國に漫遊いたしまして、巴里に旅行いたしました時、計らずも宗教文學者として、世界の尊敬を負ふて居るヘレリーバンダイク氏の大説教を聞く事を得ました、丁度復活祭の日であつて所はプロテスタントの教會崇嚴なる音樂を終はるを待て居ると、やがて壇上に倭小の一紳士が顯はれました、私が想像の中にあつたバンダイク氏とは全く相反して居りましたから多分前座をつとめられる人であらうと思ひきや、一見平凡に身の小なる紳士が即ちバンダイク氏てあつたので有ます、然し整然と壇上に立て會衆を見渡された時には敬服云ふべからざる威があつて、會衆一同思はず頭を下げました、其日の説教の題は實際的キリスト教と申すので、言々句々實に神の力に滿されて滿堂一針を落すの音もなく皆靈の力に唯だ神が此に立ち給ふと云ふ美はしい幸福な感の外何もありませんでした、而して私は後ほど紹介されて握手の榮を得ましたが、平和な無邪氣な方で實に大人は尙ほ赤子の感ありと云ふ句が一層深く心にきざまれました

○キャンベルモーガン氏

少壯教役者として其名英國を震動し海外まで嘖々たるキャンベルモーガン氏は如何なる風彩な人でありませう堂々たる威風人をして伏せしむる人と思ひきや、ヘンリーバンダイク氏より一層平凡に寧ろ醜なる風彩背のみ徒らに高き人であります、バキングハム宮殿の後にある組合教會でウエストミンスターチャペルに説教を聞きました、此會堂は優に四千を入るべき處にして、しかもモーガン氏の説教を聞こうと思ふ人は、あらかじめ、申込んて置かなければ席がない位であります、私が聞きました時の題は（放蕩息子）てあつて四日に渡つた大説教でありました、此平凡なる教役者の一度口を開くや音調律然神の力で全身燒え會衆もなし、

吾もなし、會堂もなし唯だ〳〵神のみ聲をきくばかりの感が起りました、モーガン氏は謙遜なる人て如何なる貧困な者ても、如何なる無教育の人ても一度其教會に入つたものは、一々名を記憶して必ず自ら訪問されると云ふのてあります、私は此二人の偉人に邂逅して慥かに精神上に大なる益を得ました、唯だ其人に接する丈ても既に教訓を與へられます、私は此二人の著書を若き讀者が愛讀されるならば信仰上精神の修養上大なる利益を味はれると思ひます（文責記者にあり）

青年部の才部長　ガントレット恒子

偉大とは日々の平凡なる事物に從事するに最も忠實にして且つ眞面目なるにあり、幸福とは大に愛し大に使ふるにあり

シユライナー

一の燈が他へ其光を分ちて尙消えもせず火力を減ぜざる如く高貴なる品性は他へ分たるゝによりてます〳〵高し

ローエル

怠惰なる腦と怠惰なる手足は車の兩輪の如し前者の向ふ所に後者必ず從ふ

ウヰラード

汝努めて成長すべし、汝の深き處をして大膽なる行爲とならしめよ百千度過ち倒るとも之を意とする勿れ單恐れよ汝の心にさゝやく小さき聲の指導にそむく事を幾多の失敗も人の嘲呼も恐るゝに足らず只恐るべきは汝の善なる本性と高潔なる感情とに不忠なる事のみ

ヘロン

神は我に望み給ふ働きの輕重に隨ひて必ず必要なる精力と知慧とを與へ給ふなり

ラスキン

今は其時なり友よ、今汝の側にある汝の最も愛する者のために愛の微笑と奬勵の言語とを與ふる事を惜しむ勿れ、蓋彼等今汝と共にありともまた來ん年に汝に逢ふこと能はざるやも計難たければなり、女よ汝の生涯と汝の自由とは汝の家庭より社界に出つる門戸の多く開かるゝに非ず社界より凡ての善良なる分子を家庭内に運び入るゝ路を多く見出すにあり

リッチャー、ドソン

是故に我が愛する兄弟よ爾曹貞固して搖す恒に勵めて主の工を務めよ　哥林多前、十五、五十六、

……………………………

本年も已に大會が近いて來ましたが今日まで各支部の方々は御力の及ぶ限り主義のため御働きの事と信じて居ります本年の大會は東京に於て開かるゝ筈でありますが今より各支部から少くとも一人づゝの代員を送る準備をして下さる樣祈ります、而して別に目新しい事でなくとも今まで實行して來られた各課の働きを忠實に眞面目に成され各自面白い有益な報告を以て集まれん事を願ふのです、私は部長として過ぐる四年間之と申て何も會の御役に立つ樣な事を致しませんでした、實に此點に於ては御耻しいと申してよいか苦しいと申してよいか分りません、然し其間に一つの得た所は私が眞面目に此事業を愛する樣になつた事です人の仕事の御手傳ではなく自分の仕事をするのであると云ふ確信と覺悟が出來てからは例之面白くない事があつても又自分の力が不充分である事を感じても何事も神樣の御力に由て打勝つて何處までも勝利の日まで戰ふと云ふ氣で滿足して働く事が出來ます、其上六百以上の若き姉妹等が青年部員として、私と同じ主義を以てキリストの旗下に立つて居られるのだと思ふと何となく心强い感がし朝夕主の前に全國に散在して居らるゝ愛する姉妹方の上に祝福を祈る時は自分の娘等のために祈る樣に思つて人知れぬ喜を味ふのです、嗚呼愛する青き姉妹等よ今日といふ今日より此の神聖なる事業は自分のものであると信じて如何なる場合でも力と時のゆるす限り働くといふ決心をして下さい、其心さへあれば神は必ず必要なる力も時も金も十二分に與へて下さいます而して今より左の件を實行なさる樣御準備下さい

一、可成大會へは代員を派遣すること

二、期日までに必ず本部會計へ四十二年度（四十二年七月ヨリ四十三年七月マデ）の義務金を收むる樣取計ふこと

三、期日までに部長へ報告書を送ること

四、期日までに各課をして本部課長へ其課の報告書を送ること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内外通信

本部

二月八日常置員會開催出席者十二名當日議決せし件

一東京市内各區の運動を益々盛んになす事

二名古屋共進會に矯風會文學書類を配布する事

三前橋支部よりの左の請求を承諾する事

1本部にて計畫の四十五年（五十年に延期す）の大博覧會費用の爲め會員が設けしレフタ會の貯金を前橋に於ける共進會の節の運動に用ゐる可否

2共進會開催中の矯風員會幷演説會に本部より辯士を派遣し被下るや否や

3印刷を本部にて引き受け被下る否や

四ハーグレブ女史送別會の件

五内外矯風會委員大會を三月五日に開催する事

六台場接待幷に邦人側の辯士依頼は本部にて引受くる事

七慈愛館事業擴張の爲め一大運動をなす事

八婦人ホーム様の慈善事業を市内中心に設くる事

右終り會頭の厚意により夕飯を喫し感謝の中に散會せしは午後七時なりき

二回慈愛館運動の目的を以て集會す

二月十九日芝區白金ライシャー氏に於てハーグレブ女史の送別會あつたり

三月五日

銀座會館に於て内外委員幷に會員の總會を開く來會者八十名餘當日は左の問題につき互の意見を陳述せらる

1如何にして集會を興味あるものとなすべきか

山室軍平君

ストラツト女史（栗屋肇子）三分

2如何にして會員の増加を計るべきか

井深花子

マコーレー夫人（山東泰子）三分

3如何にして會計の整理をなし財政を勵むべきか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

横倉秀
ライシャー夫人（ブラックモー氏）五分
本多貞子
ルイス女史
守屋東子
テピス女史

4如何にして深働を發展すべきか
5少年禁酒軍について

尤も有益にして各自大に決心する處ありて散會したり
（詳細は次號に）
小崎千代子、スペレサー女史追々に全快の途につかる

芝

會員消息

瀬野尾しげ子（矢島民子令孃）二月二日男子を擧げらる
片山夫人（井深花子令孃）二月女子を擧げらる、御母子健全のよし兩親の永々繁りまさん事を祝す

○佐賀

婦人矯風會は一月十三日午后三時花房小路の幼稚園に於て新年の初會を催し讃美、聖書朗讀（リッパード夫人）祈禱（渡邊道代）尋て佐賀幼稚園々長和佐恒也氏を聘し『婦人の力』と題して社會の醜状に鑑み矯風事業發展に頼るゝ適切なる演説ありて後に茶菓の供應と倶に出席會員一同互に親睦を成し此日新入會者二名ありて新年早々有益なる會にてあり、主賓ともに二十名、同二月九日同幼稚園にて例會を開き會長（和佐さく姉）司會を以て以弗所書の六章を奉讀、祈禱ありて次に講師ローランズ夫人（佐世保在住）の講話即ち同夫人の家郷英國に於る幼少時代の實歴談『家庭の美風』の徳を傾聽し本日も亦た新に入會せしは男爵多久氏の母堂及び同姉君なる中島姉並に佐賀縣立病院長大黒令夫人と佐賀專賣所長玉井令夫人等にして有力なる新人會員を加へ自今尙會の發達を望みて働を成し居れり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

當今米價下落の爲め佐賀縣下の酒屋は甚だ不人氣です私の家の向の受賣酒屋の妻君は酒の賣行不良なるに依り暮が出來ないとて實に困て居ます夫れは不景氣の爲め市内の料理屋は全く客が無いので夫れに金の儲が無いが爲めに何れも飲酒する者が少くなりしに因るのです縣下の一例を報道すれば

酒造高減少　唐津町は昨年農家諸祭禮を見合したると戊申詔書の爲め賣行大に減少し是が爲め何れも古酒多額の持越を成し居る事とて本年は例年に比し各酒造家は仕込を手控へたる結果五尺桶百本の釀造減額なりと

一般に縣内は本年は飲酒者を減數せしは事實である別して近來は淫賣婦の檢擧が仲々八鎌敷ので自然吾黨の主義を擴張するに上々の時機である

世上經濟界の不景氣なるは却て酒飲が減ずる事となりしは實に結構てあると思ひます

〇前橋

一月八日清心幼稚園に於て例會を開くペットレー氏の合衆國に於ける禁酒運動の經過につき有益なる講話あり、

役員會一月二十二日清心幼稚園にて役員會を開き兼て先年以來考案中なりし共進會に就ての我上毛婦人矯風會の聯合運動につき其方法を決定して着々其歩を進むる事就ては二月例會に於て本問題を協議する事、等を議して散會二月例會二月五日午後二時より前橋教會堂にて開會司會者ペットレー會頭、讃美歌、祈禱、聖書朗讀、會計報告、各課報告、あり次て本日の議案たる共進會に就ての働きの件は副會頭熊谷せつ子姉事故の爲記錄書記松宮しん子姉病氣の爲缺席せしため議事の決定を見ずして閉會、二月五日三時より高野靜子姉の歡迎會と基督教婦人會と聯合して開く同姉は救世軍女士官として米國に視察せられ今回歸國志熱心に活働せられ居れり當支部會計柴田夫人の令妹にて渡らせらる、

共進會に於ける聯合運動につき本部、左の件を問合す、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、明治四十三年九月十七日より十一月十七日迄開會の一府十六縣聯合共進會に就て我上毛婦人矯風會の聯合運動に對し矯風大演說會などを開く時は本部より應援せられん事を乞ふ如何

二、來る大博覽會の爲め月々當支部にて集合せしレフタ金を今回の運動に費して差支へなきや（但し共進會閉會後引つゞき博覽會のため集金しをく事）

三、今回の運動につき他縣各支部より寄附金を募れる事の良否（婦人新報紙上にて）

右につき本部通信書記横倉秀子姉より返信あり本部常議員會の決議により三件とも快諾あり進んで大に活動あれと、

二月十六日東京芝婦人矯風會より今回の運動に同情せられ懇篤なる御手紙を添へ金十圓寄贈せられたり會員一同はふかく勵まされ益々責任の重大なるを感じ熱心に祈りつゝ進まん事を誓ひ居れり

藤岡矯風會よりの來信、二月十七日藤岡矯風會より委員として大戸きし子、小泉たね子の兩姉を推撰し、尙金五圓と運動費中、寄附する事との來信あり、

故ウイラード孃の紀念會、二月十七日午後二時より松宮方にて開きペソトレー夫人の司會、故孃としのびての感話祈禱あり紀念の献金をなして閉會

役員會二月十七日午後二時より開會共進會の聯合運動につき種々協議し其考案及豫算をつくる、

一迷子預り處の設計
一禁酒禁煙、矯風的印刷物の配布、
一禁酒、矯風の演說會開會、
一休憩所の設立、

右四件につき經費のゆるす限り實行すること、尙警察署長を訪問して其意見をきゝ打合せをなすこと、

考案の實行は來る春期上毛基督教婦人會開會の折各地より委員を召集して協議決定すること

二月十九日午後七時より前橋禁酒會の發起にて禁酒演說會を前橋基督教會にて開會、安藤太郎氏及野口末彥氏の演說あり來會者百四五十名、我矯風會員は熱心に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來聽者をあつめ又接待につとめたり柴田、平賀、宮內松宮の諸嬢ステーションまで安藤氏を出迎へたり

○福岡若松町

四十三年一月廿二日

例年の通り親睦會を濱之町聖公會に於て午後七時より開會く來會豫定數十名の筈なりしが、折惡しく降雨はげしかりし爲め出席者は半數にも滿たざりしが熱心なる會員の集合なれば思ひがけなき愉快を覺え讃美、祈禱、會頭申田姉の感話一々身にしみてうれしく二三の餘興も催されて散會せしは十時前なりき

一月二十六日

三內町日本基督教會に於て役員會を開く出席者七名天父の御導きの元は各自の意見を心置きなく打ち語りいよ〳〵左記の數件を決議して散會す

一、當會基金の一部として慈善賣店を開設す益金を寄附すること

一、期日は三月下旬

一、會員一同各自一同以上の製作品を出品すること

一、出品期日は三月二十日限りのこと

二月五日

久しぶりに晴し今日矯風會普通例會を濱之町美以教會堂に催す參會者會員拾名贊助員一名にして午後二時半開會、默禱少時にして讃美歌次で藤岡牧師の感話、原姉の所感、會計報告、閉會の祈禱にて此會は閉ぢたれど引き續き役員及び委員の改選を行ふ、其結果左の如し又前役員會に於て決議されたる慈善賣店に就て各自出品の材料費は希望者には會より一時立替を成すことにして會員全部に向つて廻章を出すとす

會終る大阪汎愛扶植會出張員來會せられ當地にて慈善會擧行した此れは助力を乞ふ旨求べらる

改選の結果

役員の部

會長　原めみ子

副會長　近藤ゑつ子

會計　木本さだ子

委員の部

書記　内藤やす子

川崎夫人　中野夫人
八條夫人　光安夫人
大塚夫人　三輪夫人

以上

〇長府

四十三年一月に開かるべき豊浦婦人矯風會の例會と役員の病氣其他の都合にて二月二十七日に延期され當日午後二時より同好倶樂部階上に於て開會さる
書記桝富姉病氣欠席の爲め會長代りて會の報告並に會計の報告あり續て將來の運動方針に就き協議する所あり先づ會の働きとして高等小學兒童の貧困者に學資を補助することを可決し其取調べ方を補習學校教師谷川氏に依頼せり
尚會員の動議に依り役員の補欠を會長の指定に任ずることゝなり會計の補欠は桝富姉に書記と兼任幹事の補欠を谷川氏に願ふことゝなりぬ

豫め依賴し置きし醫士中尾敏夫氏の氣候（特に寒冷の時季）と疾病との關係と云ふ題にて大人及小兒の寒冷に對する豫防及保護等有益なる參考となるべき講話ありたり
終りに來る四月の例會は大凡第三の日曜日に開くべく予定せり茶菓の饗應ありて五時に閉會す來會者八名

〇堺支部會報

一月十八日午後二時よりメソチスト教會に於て新年會開催せられ大枝姉司會の下に讚美聖書朗讀祈禱を以て開會メソチスト教會牧師藤井秀樹氏矯風會々員に對する要求と題し我正義軍の兵卒として健全にして而も活氣に充ちたる候補者を養成することは社會惡風未然の豫防策ともなり亦實に已然の惡風矯正の大勢力となりと此勢力養成する方法として左の三ケ條即ち第一各自が卒先して教會に出席し小女を誘導して神聖なる空氣に觸しめ知らず識らずの間に其感化を受けしむることゝ第二家庭に於て禮拜を勵行し兒女の宗教的教養を

怠らぬことと第三矯風の根本主義を解決し得る所の日曜學校の事業に今一層の趣味を加ふべきことに付懇切に述べられたり同氏の祈禱の後司會者の奬勵それより趣味ある余興一二種互に懇親を交へ茶菓を喫し感謝の中に散せり來會者二十餘名なりき

二月十五日午後二時よりてもて教會に於てウキラード孃紀念會を開く黒田良子姉司會の下に讃美聖書朗讀祈禱を以て開會當地日本基督教會牧師鈴木壽一氏孃を紀念する爲有益なる勸話ありき其要は會員一同が今日の紀念日に當り覺悟すべき事は孃の意志を繼ぎ何處までも其事業を發達する樣奮勵すべきことと高き階段を昇る第一着として各自の足下なる自己をかへりみて自を修め家庭を整理し之を潔め交際塲裏に立ときも非細に考へて己が德を研き而して隣人の德を立つる人とならざるべからず天は自らを助くる者を助く若し志を立んと欲せば天父は吾人を祐立たしめ力を與ふるは愈々孃に同情して其事業の實行者とならざるべからずと懇々に述べられ大に自ら顧みる所ありき終に讃美祈禱を捧げ閉會す來會者十六名斗ありき

○婦人新報代領收（十二月下旬より二月中旬まで）

一金二圓八十錢	（四十二年十二月迄）	清水安子
一金七十錢	（四十二年迄）	盛岡婦人矯風會
一同	（四十二年迄）	江原八重子
一同	（四十三年迄）	神澤菊子
一同	（四十二年度）	油分とく子
一同	同	古田ふみ子
一金壹圓	（四十四年二月迄）	伊藤とみ子
一金壹圓六十九錢	（四十五年迄）	原かめ子 外三名
一金壹圓四十錢	（四十三年度）	長島とし子
一金七十錢	（四十三年度）	岡見とし子
一金一圓五十錢	（四十一二年度）	ローレンス氏
一金壹圓五十錢	（四十二年二月迄）	藤田すが子
一金貳圓十三錢	（四十二年迄）	小野さわ子
一金廿三圓	（四十二年十二月四十三年一月迄）	大坂支部
一金三圓	（四十二年迄）	細堀まり子

謹啓

餘寒尚強く相覺え申候益々御清榮育英のため日夜御いそしみ被遊候御事奉賀上候さてとや本日は萬國婦人矯風會設立者故フランシスウヰラード嬢の紀念日に相當致し候へば昨年の如くに御來臨を乞ひて何か教育上の御談話を御願ひ致さんかとも存候ひしが御多忙中却て恐縮と存じてさしひかへ何か記念の方法もがなと相談いたし精神修養に偉大なる感化を與ふとの好評ある書物日々の力を一部進呈仕候何か座右御參考書の末にも御加へ被下候はゞ本懐之に過ぎず尚邦家のために御自愛切に奉念上候先は御伺旁如此に御座候　敬具

明治四十三年二月十七日

大阪基督教婦人矯風會

風俗課長　馬場松恵

教育課長　細介初

殿

一月以來三月迄の新入會員

濱谷やす子　風巻うめ子　井藤やす子

大中みき子　杉本しん子　佐藤てい子

鈴木みね子　ミスアレキサンダー

須基榮枝　祇園くら子　熊澤丑衛

佐々木たみ子　山根幾千代　内藤あき子

熊谷よし子　武内雪枝子　木田たか子

瀧井もと子　山口まさ子　常念とよ子

森田よし子

〆廿一人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀賣新聞記者藤川淡水先生著

バイブル御伽噺

定價五十錢　郵稅六錢

聖書は仲々六ヶ敷くて子供に讀ませる事は出來ないけれども聖書中の教訓を子供に教へる事は最も必要である此書の中に收むる五十篇の御伽噺は皆聖書中の金言名句を骨子として其を敷衍したるもので娯樂の上からも德育の上からも基督教界の欠陥を補ふて餘りあるものであるやさしく書いてあるから子供自身にも讀めるし大人が子供の爲めに讀んで聞かせても宜い又日曜學校の教材としては最も適當なものである

宮内次官題字　篠田昌武先生譯

歐米五傑傳記物語

定價二十錢　郵稅四錢

原著者文豪ホーソルンの文名は知らぬものはあるまい、これは彼が米國小兒のためベン、ウエストフランクリン、ジヨンソン、クロムエル、ニウトンの五傑を選び平易に趣味深く書いたものである譯文は近頃には珍らしい高雅な文體である

宮川經輝先生序　竹内甚吉先生遺稿

商人の宗教

定價二十五錢　郵稅四錢

商人は果して無宗教なるか曰く否崇神祭祀の甚しき商人の如きはあらず彼等は實に宗教を有せるなり只其が迷信なるのみ之を正しき信念に導かんとするは商家に生れて牧師となれる著者が抱負なりとす

基督教世界社編

基督教提要

定價金八錢　四六版七十頁

右は本誌に連載せる海老名、綱島、小崎、宮川、加藤、今岡、原田、牧野、渡瀬、野口の十氏の傳道的論文を收めて一冊となせるものにて傳道用として需要せられんことを望む

日高善一先生編

主婦之典型 渡邊松子

定價二十五錢　郵稅四錢

發兌　東京市京橋區尾張町二丁目十五番地（振替東京五五三番）　警醒社書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA